

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JA豊橋 本店	階数	地上4階
建設地	愛知県豊橋市野依町字西川15番,138番	構造	S造
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	149 人
気候区分	6地域	年間使用時間	2,000 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年4月 予定	評価の実施日	2019年9月25日
敷地面積	26,339 m ²	作成者	大和
建築面積	2,212 m ²	確認日	2019年9月27日
延床面積	5,603 m ²	確認者	大和



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★ BEE=1.0

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

★☆☆☆

標準計算

①参照値	138	100%
②建築物の取組み	120	88%
③上記+②以外の	120	88%
④上記+	120	88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 重点項目

<h4>①地球温暖化への配慮</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.4</p>	<h4>③敷地内の緑化</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">1.0</p> <table border="1"> <tr> <td>外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)</td> <td>5.1 %</td> </tr> <tr> <td>建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)</td> <td>0.0 %</td> </tr> </table>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	5.1 %	建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %
外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積)	5.1 %				
建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積)	0.0 %				
<h4>②資源の有効活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p>	<h4>④地域材の活用</h4> <p style="font-size: 2em; color: green;">3.0</p> <p><外装材に使用した地域性のある材料></p> <p>愛知県産二丁掛けタイル</p> <p><建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材></p> <p>なし</p>				

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
LR-3 1 地球温暖化への配慮

②資源の有効活用
Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
LR-2 2 非再生性資源の使用量削減

③敷地内の緑化
Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

あいちの環境活動を応援しています

3 対応性・更新性					3.3	0.29		-	3.3
3.1 空間のゆとり					4.2	0.31		-	
1 階高のゆとり			階高3.9m以上を確保		5.0	0.60		-	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.31		-	
3.3 設備の更新性					3.0	0.38		-	
1 空調配管の更新性		②			3.0	0.17		-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17		-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11		-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11		-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22		-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-	3.0
1 生物環境の保全と創出		独自③			1.0	0.30		-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④	周囲への調和、地場産材による景観形成		5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮					2.5	0.30		-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上					2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.3
LR1 エネルギー						0.40			3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPIm=0.82		4.8	0.30		-	4.8
2 自然エネルギー利用			ハイサイドライト設備		4.0	0.20		-	4.0
3 設備システムの高効率化					2.8	0.30		-	2.8
4 効率的運用					3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング					3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制					3.0	0.50		-	
集合住宅の評価					-	-		-	
4.1 モニタリング					-	-		-	
4.2 運用管理体制					-	-		-	
LR2 資源・マテリアル						0.30			3.3
1 水資源保護					3.4	0.15		-	3.4
1.1 節水			節水型便器の採用		4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.67		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.33		-	
2 非再生性資源の使用量削減					3.1	0.63		-	3.1
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自			3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材					3.0	0.05		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	S造により、躯体と仕上げは容易に分別		4.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.6	0.22		-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					4.0	0.68		-	
1 消火剤					-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			ODP=0の断熱材を使用		5.0	0.50		-	
3 冷媒					3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境						0.30			3.0
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2排出率が参照値に対して88%		3.4	0.33		-	3.4
2 地域環境への配慮					3.1	0.33		-	3.1
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善					3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.5	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減		独自			3.0	0.25		-	
2 汚水処理負荷抑制		独自			3.0	0.25		-	
3 交通負荷抑制			建物用途ごとに駐車場を確保		5.0	0.25		-	
4 廃棄物処理負荷抑制					3.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮					2.7	0.33		-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		-	
1 騒音		独自			3.0	1.00		-	
2 振動		独自			-	-		-	
3 悪臭					-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40		-	
1 風害の抑制					3.0	0.70		-	
2 砂塵の抑制					-	-		-	
3 日照障害の抑制					3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					1.6	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策					1.0	0.70		-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30		-	

重点項目スコアシート

JA豊橋 本店

実施設計段階

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.4
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.4	0.10	
② 資源の有効活用				3.0
Q2-2	耐震性・信頼性	2.9	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.3	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.1	0.19	
③ 敷地内の緑化				1.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	外構緑化:5.1%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				3.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	2.0	-	愛知県産二丁掛けタイル
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 JA豊橋 本店

計画上の配慮事項	
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境性を考慮した音・空調・光環境の構築 ・更新性、メンテナンス性に配慮した設備計画 ・居住者に配慮したリフレッシュスペース・内装デザイン計画 ・高効率設備機器を採用による省エネルギー ・周辺環境に配慮した外装デザイン ・環境にやさしく地域環境に溶け込む建物
Q1 室内環境	<ul style="list-style-type: none"> ・音環境に配慮して、内装材に十分な遮音・吸音性能を確保 ・空調、換気、照明設備に対して十分な設備容量の確保 ・高断熱LOW-Eガラスを採用することによる、外皮負荷の低減 ・滞在者が快適に過ごせるように、広く安心感のある空間の創出と高効率な設備を取り入れた室内環境計画とする。 ・屋根・外壁の高断熱化による空調負荷の抑制
Q2 サービス性能	<ul style="list-style-type: none"> ・十分なリフレッシュスペースの確保 ・OAフロアをベースとしたコンセプト設備の更新性の確保 ・維持管理のしやすい建築計画・設備メンテナンスレイアウト ・更新必要間隔が長く、耐久性の高い設備部材の採用 ・非常用発電機
Q3 室外環境(敷地内)	<ul style="list-style-type: none"> ・バルコニーを設けることで、室内外の緩衝空間を確保することによる内部空間と外部空間の連続性を持たせた計画 ・地域材の活用(磁器質タイル、レンガタイル) ・夜間照明、監視カメラによる防犯性強化
LR1 エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・高効率空調機、LED照明をベースとした高効率機器の採用 ・LOW-Eガラスをベースとした窓廻り熱負荷の低減 ・自然エネルギーを利用した設備も設けることによって省CO2を実現 ・自然換気、地下水利用等の採用
LR2 資源・マテリアル	<ul style="list-style-type: none"> ・節水型衛生器具を採用による水資源の低減 ・躯体材料以外のリサイクル材の使用 ・鉄骨部分にBCR材を適用
LR3 敷地外環境	<ul style="list-style-type: none"> ・日照障害に配慮した建屋レイアウト ・振動・騒音対策、適切な雨水排水設備を設けるなど周辺地域に悪影響を及ぼさないよう対策を講じている ・駐車場台数確保
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・3次元CADをベースとしたBIMの取組みの実施 BIMにて、内装計画・外装計画の初期検討を行った。